

習得せしめることを目的とするものであつた。それかた
め「我等は勞務者たる前に先づ人である、資本家たる前
に先づ人である」とことをモットーとし、勞務者は勿論資
本家代表も参加して、「講習と講習員と寢食行事を共に
し心と心との接觸に努めて其の目的の達成を期せんと
する、當時としては極めて異色ある講習會であつた。其
の第一回講習會は大正十年二月東京世田ヶ谷の國士館内
に於て開催されたが、以後全國各地に開催されて多大の
効果を擧げた。之と並行して、同年四月には社會政策に
關する知識を普及し之に對する研究の端緒を與ふる目的
を以て、先に開所された社會政策講習所の擴張と目す
つた「社會政策短期講習會」を、初めて大阪市に開催し
た。以後神戸、小倉、京都、名古屋、廣島、仙臺等の全

國主要都市に開催し、その學科は地方の事情と當時の社
會狀態とを考慮して、主として勞働問題、社會政策、社
會事業、思想問題、勞働者教化、児童保護、失業問題、
農村問題、能率増進、工場委員制度、協調の精神、海外
勞働事情等の多方面に亘つて勞働者の啓發に資するとい
ふか大であつた。

第四項 勞働雜誌「人と人」及び社會政策講義

録の發刊、その他講習會の開設

更に、本會の趣旨よりして、勞働問題の眞の解決は勞
資相互の理解と向上發展に俟たねおなわらない。そのため
に、勞働者の精神を修養し知識を啓發し、保せて高尚な
る趣味を涵養し、その親しき座右の友たらしめんとす